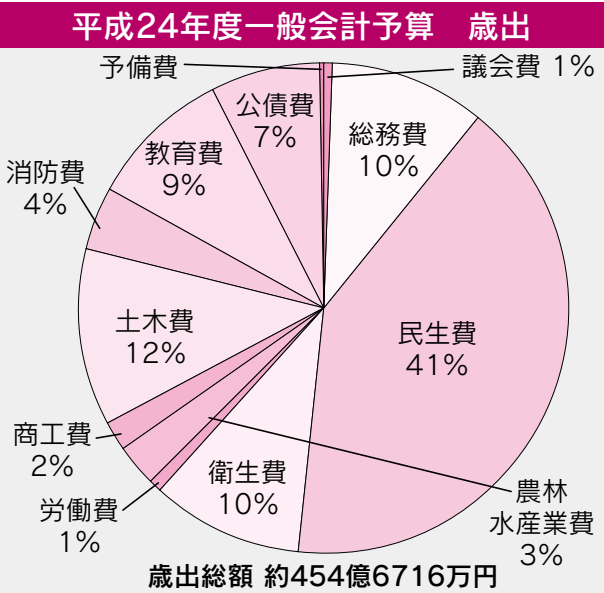
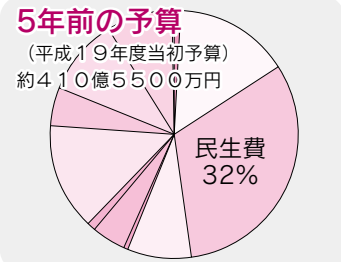


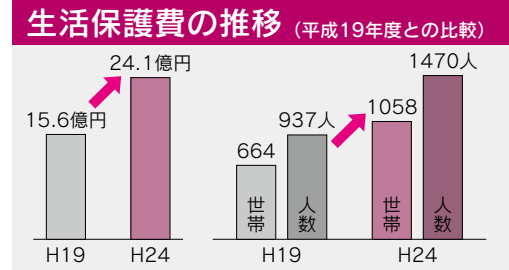
民生費とうとう40%を超える



地域生活支援
約1億1999万円
新規の地域活動支援センター事業とは。
障害者自立支援法に定める福祉サービス施設への移行に対応しない3施設が申請に基づき同センターに移行するものである。市の主体事業となり運営費の補助をする。

生活保護費支給
約24億1308万円
扶助費の推移は。平成19年度当初予算約15億6千万円、24年度当初予算約24億1千万円。平成19年度の受給世帯は664世帯937人、24年度末は見込みで1058世帯1470人である。

民生費（社会保障）



こども医療費支給
約4億8422万円

事業内容
対象者 通院…小学校修了まで
入院…中学校修了まで
※平成24年10月診療分から、入院通院ともに中学校修了まで拡大の予定
県内市町村の実施状況 (平成23年10月現在)
通院 就学前まで 川口・草加など9自治体
6歳まで 春日部
9歳年度末 川越・日高
小学校修了まで 戸田・朝霞など8自治体

農林商工（産業）

勤労者住宅資金貸付
約2億1300万円
貸付条件を変更したことで執行が遅れな
い。貸付が遅れ工
化のリフォーム、住宅
耐震化、太陽光発電等
の補助に支障が出ない
のか。金融機関との協
議もあると思うが執行
開始はいつか。
答 予算要望するとともに協議を始めている。早ければ4月に対応できるように準備している。

特産物PR
約972万円
県事業「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」の深谷開催が正式に決まるのはいつか。
答 5月の実行委員会が決まると聞いている。計画通りの開催であれば11月3・4日である。

砂ほり対策
約257万円
昨年より減額だが、その事業展開は。
答 地域の資源を活用しながら進めていきたい。特に花卉や植木等の産業を活用していく。
緑の王国のように地域の人的資源を活用し、予算をかけずに成果をあげられないのか。
答 緑の王国とも連携を深め展開していく。



平成24年度一般会計予算に対する討論

反対

平成22年度の補助金等見直し方針は平成15年の補助金等の検討を行った中で出された「補助金等の見直しが求められている」という最終意見を受けてのことだったが、その意見書では「公益に資する補助金等」であって、意見書の解釈を変えてしまふ公益に資する団体の補助金まで削ってしまった。一方で、企業誘致には熱心で、とりわけ副市長の二人体制は県内でも突出しており異常な市政運営と言わざるを得ない。地域経済の活性化にどれほどの効果があるか分らない企業誘致に力を入れるよりも、地域に根ざした中小零細企業にもっと支援するべきである。

賛成

平成22年度の補助金等見直しは、地方行政が手をつけにくかった部分であり、今回、深谷市が大胆かつ公正に再評価したことは、ポピュリズムと深谷市政の関係性を明確にしている。また新年度当初予算は災害処理・防災の見直しや不安定要因が続く中で、市政の方向付けをするという意味において評価できる。合併特例債発行額は増えているという指摘があったが、その全てが未来への投資で完結している。また、副市長の体制については政策を高める効果として、その政策の規模や進捗向上に生かされていることはそれぞれの事業について報告を受けた内容から読み取れる。

議員名	深谷	和	会	志政会	公明党	深ク	志民	共産	彩新	審議結果
剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
秀夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
重雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
由朗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
清	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
政義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
伸一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
徳浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
克正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
邦男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
寿子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
み子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
恒明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
勝彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
博之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
温子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
睦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
信吉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
均	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議員名は、深谷は深谷クラブ、志民は深谷志民の会、共産は日本共産党、彩新は彩新連合です。 ※議長は同数のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対)

補正予算

一年早まる、エアコン設置

スマートIC整備

問 当初この事業に約636万円の予算がついていたが、なぜ40万円しか使われなかったのか。
答 今年度、国への連結許可申請を進めていく予定だったが、国の事情でそれができなかった。内容について県と協議した中で、申請書の中身を修正する必要があり、その費用が40万円だった。

緊急地域雇用対策

問 事業費が確定し減額となったが、雇用の人数や期間は当初の予定どおりか。
答 補正減の理由は、入札の結果、落札額が見込みより低かったためであり、事業内容に変更はない。遺跡整理デジタル資料作成事業20人、台耕地遺跡出土鉄滓等採石事業11人、文化財取壊施設整理事業4人となっている。

庁舎維持管理

問 この夏の節電効果はどうだったのか。
答 平成23年度1月分までの電気料金は総額約1674万円で、約246万円の効果があつた。2、3月分の電気が量が増えた場合、更なる削減額となる見込みである。

保育園運営（公立）

問 公立保育園にAEDを購入する費用のようだが、講習会等開催の予定はあるのか。
答 消防本部開催の講習会に保育士が参加。

小学校施設整備維持
問 小学校のエアコン設置について、補正予算となった経緯と設置の予定時期は。
答 経緯については、国の補正予算が採択されたため、前倒しでの予算となった。平成24年度早々に事業を進めていく。工事は、土曜日より夏休み集中して行い、使用開始は夏休み以降になる。



〈議会あれこれ「補正予算ってなあに？」…年度途中における災害の発生、法改正などに対応するため、当初予算額を増額または減額する予算のことです。〉